

第5回 秩父別町教育委員会定例会会議録

会 期

令和元年12月18日

令和元年12月18日

(会議日数 1日間)

議事日程及び順序

- 1 開会宣言 午後 3 時 30 分
- 2 開議宣告
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 前回会議録の承認
- 5 報告事項
- 6 議案審議
- 7 協議案審議
- 8 閉議宣告 午後 4 時 51 分

記録 別紙のとおり

上記会議の次第を記載し、その適正であることを承認し署名する。

令和 2 年 2 月 25 日

会議録署名委員 梅 澤 大 観

第5回 秩父別町教育委員会定例会会議録

令和元年 12 月 18 日（水曜日） 午後 3 時 30 分

秩父別町教育委員会に召集

出席 委 員 4 名

梅 澤 大 観

南 洋 子

田 丸 政 彦

宮 本 こずえ

教育長 小 林 宏 明

委員、教育長及び傍聴人を除く外議場に出席した者

教育課長 笹 木 雄 介

主幹 川 尻 智 志

主幹 大 山 達 美

主査 川 端 恵美子

会議録を作成する職員

主査 川 端 恵美子

午後 3 時 30 分 開会宣言

○小林教育長

只今から令和元年第 5 回秩父別町教育委員会定例会を開催いたします。

委員の皆様におかれましては師走のお忙しい中、重要案件をご審議いただくために出席いただきましたことに心から感謝申し上げます。

さて、今年の漢字 1 字は「令」という字になったそうですが、新元号が「令和」に決まり新たな時代の希望を感じさせたことや「令」という漢字が持つお互いが敬いあい・尊びあい・尊敬しあうと言うそういった意味に注目が集まったのではないかというふうに考えております。そんな期待と希望を胸にした令和元年度でしたが 4 月には小熊校長先生を始め 8 名の教職員の皆様をお迎えし、小中学校合わせて 125 名がそろって新年度のスタートを切ったところでございました。

教育委員会では学校運営協議会いわゆるコミュニティ・スクールの導入にあたっての協議を始め、また学校における働き方改革・計画における行動計画の策定について、更には町長が着任されて早々の総合教育会議では秩父別町教育振興基本計画の策定にあたって説明をさせていただきました。この他子供達の学力や体力の状況について実態の報告と今後の取り組みについて確認をいたしましたし、いじめや不登校児童・生徒の状況についての報告や児童虐待による児相への一時預かり、校区外通学児童の対応についても何度か情報提供させていただいたところであります。そして教育委員の皆様におかれましては小中学校への学校訪問、全道・管内・北空知での研修会がございましたし、また、小中学校における各種学校行事等も参加していただきました。とりわけ教育予算要望等に関わりましては、本日もこの後ありますけれどもご理解ご配慮を賜りましたことに対しましてお礼を申し上げます。本当に目まぐるしい 1 年となりましたが、全国では子供達を取り巻く社会現象が大きく取り上げられ悲惨な事故やトラブルが多発いたしました。幸い本町におきましては子供達の命に係わるような大きな事故もなく、先ずは 1 年を終えられるのではないかとほっとしているところであります。これもひとえに学校関係者や保護者の皆様、地域の皆様、もちろん教育委員の皆様のお陰と改めて感謝申し上げます。学校では明後日 20 日に長かった 2 学期が終了し翌日から冬休みに入ることになります。教育委員会といたしましてもこの冬休みを事故無く安全に家族ともども有意義なひと時を過ごし、そして来るべき新しい年が子供達にとって明るく希望に満ちた素晴らしい年になることを願うばかりであります。少し長くなりましたけれども本日の審議が円滑に進みますようお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。

日程番号1番 会議録署名委員の指名について

○小林教育長

日程番号1番、会議録署名委員の指名についてお願いします。

○笹木教育課長

はい、1番梅澤委員を指名します。

○小林教育長

はい、よろしく願いいたします。

日程番号2番 前回会議録の承認

○小林教育長

日程番号2番、前回会議録の承認についてご報告願います。

○宮本委員

先ほど前回開催された第3回臨時会の議事録の内容を確認いたしました。
議事録の内容は適正に記録されていることを確認いたしましたのでご報告
いたします。

○小林教育長

はい、ありがとうございます。

日程番号3番 報告事項

○小林教育長

日程番号3番、報告事項について、1町内校長会についてご報告させていただきます。

12月13日に町内校長会がございました。【児童・生徒の個人情報のため省略】
中学3年生全員の進路がほぼ決まったという話がございました。私からは
以上でございます。

○小林教育長

2教育長会議等について笹木課長から報告願います。

○笹木教育課長

(別紙に記載のとおり説明)

○小林教育長

次に、3町議会関係について報告願います。

○笹木教育課長

12月12日開催の第4回町議会定例会について報告いたします。

町長からの行政報告では、農作物の出荷状況として、8・9月の低温・日照不足により北空知の作況指数は105のやや良となり、北いぶき農協における取扱数量は19万213俵で反収563kgとなり、秋まき小麦は天候に恵まれ平年より収量が多かった半面そばは播種後の干ばつの影響もあり収量が減少したこと、花卉は1億347万円の販売となり出荷量、売上額とも昨年を上回ったこと、ブロッコリーは6月からの干ばつと8月下旬以降の長雨と多湿による病害虫と生理障害が発生する中、収量は昨年を維持しているが作付戸数が減っている状況であること。

工事の入札結果として、8月8日から9日にかけての大雨により被災した東山地区の農道法面工事として「秩父別地区農業用施設災害復旧工事」を興和建設株式会社が落札したほか8件の工事発注の報告がなされました。

教育長からの行政報告では、令和元年度全国学力・学習状況調査の結果について、中学校が今年から英語が加わって実施され、正答率として小学校・中学校とも全国平均を下回ったことと今後、同時に行われた学習状況調査における質問事項にて学校以外で勉強する時間が全国と比べ短いなど十分な改善が図られていない状況が明らかになり、学校・家庭・地域そして行政が一体となって、主体的・対話的で深い学びの実践や望ましい生活習慣の確率に向けた取り組みによる確かな学力の定着に向けた取り組みを一層図って参りたい旨報告しております。

議案は全部で20本で、会計年度任用職員に関して7件、人事院勧告による議会議員の議員報酬や町長等と職員の給与改定などのほか、指定管理者の指定、一般会計及び介護保険・農業集落排水特別会計・簡易水道事業会計の補正予算の提案などがあり全議案が可決されております。

一般質問では、真島議員から「公営（公設）塾の導入について」として質問がありました。

趣旨は、子育て支援策により北空知管内での新入学児童数は深川小や一己小に次ぐ入学者数であるが、教育環境をより充実させるうえでも空知管内のいくつもの自治体でも導入している公営塾を開設し学校以外での学習を習慣化させ学力向上につなげてはどうかと思うが、教育長の考えを伺いたいというものでした。

それに対し教育長は、既に公営塾を導入している地域では近くに民間学習

塾がないこと、塾の講師を早い段階で確保したこと、子どもや保護者に共通した強いニーズがあったことなどの条件から成果につながったと考えているところです。

本町での通塾数は児童9名、生徒11名でありそのほとんどが自家用車で送迎しており、現状を鑑みても通塾させたいと考えている保護者は少なく、また、中学校では部活動で頑張っている生徒が多いことや学習支援員による少人数指導を継続し、放課後や長期休業中での教師等による補充学習を積極的に取り入れているなど、学校が進めてきた学力向上対策による成果や課題とどのように結び付けていくかと言うことも踏まえ、保護者や学校の意見を改めて伺ったうえで検討し考えて参る旨答弁しております。

次に前田議員からは、「町民の健康増進策について」として質問があり、横浜市では歩数によりポイントを付け年間を通じて持続的に取り組んだ方への表彰を行っており、町としてウォーキングを通じ健康増進を図り町民一人ひとりが楽しみながら健康寿命を延ばす取り組みが必要と考えるが町長の考えを伺いたいというものでした。

それに対し町長は、本町では秩父別町第2期健康増進計画を策定し健康づくりを推進してきており、町づくり協働隊によるフットパス事業などウォーキングを楽しんでいる状況であり、また、特定健診の受診率が平成29年度において全道で32位、各種がん健診では1位から3位の中に入っており健康に対する意識は高いと認識しているが、横浜市の事例などの様なものは自治体の規模など本町とは大きな差異があり同様な事業展開は困難であると考えているが、健康づくりによる住民の健康と医療費抑制の効果は不可欠であると考えている旨答弁しております。

次に大野議員からは、「ベルパーク内の安全対策について」として、山梨県キャンプ場で発生した女子児童行方不明事件があったところであるが、本町キャンプ場が近年大いに賑わっている反面既存の防犯カメラではキャンプ場や駐車場、周辺通路等を充分カバーするには至っておらず、今後の措置等どのように考えているか教育長の考えを伺いたいというものでした。

それに対し教育長は、現在あるカメラに対し増設すると言った計画はないが、本年よりキャンプ場の管理体制を見直し、キャンプ場に管理小屋を設置したり、駐車場入り口にガードマンを配置するなど安全対策を強化してきて

おり、今後も安全に配慮した運営を続けて参る旨答弁しております。

次に中西議員からは、「町職員の研修制度の導入について」として質問があり、趣旨は、町外自治体や民間のイベントに職員を参加させ、その経験等による発想力や行動力を培わせてあげてはどうかと考えるが町長の考えを伺いたいというものでした。

それに対し町長は、人口減少や少子高齢化、ICT化による多様化に対し職員の資質向上は極めて重要と考えており本町も2年目研修から始まり6年目研修、係長職への監督者研修、市町村アカデミーや自治大学校のほか北海道への派遣研修、民間が主催するプログラムやイベントなどにも参加させ、職員の育成に努めているところであり今後も豊かな発想力と行動力をもって業務に精励できるよう職員の育成に取り組んで参る旨答弁しております。

次に岡崎議員からは、JR留萌本線存続の検討について質問があり、趣旨は留萌市が「留萌本線の運行は非常に厳しく、駅周辺を含めた次の一手を打つ場面に来ている」と説明している新聞報道があり今後の行く末を慎重に検討するべきと考え、町民の意見を反映させた検討委員会などを立ち上げ存続の是非を検討してはどうかと考えるが町長の考えを伺いたいというものでした。

これに対し町長は、本年6月に第4回JR留萌本線沿線自治体会議が開催され、その席で「引き続き存続の可能性を探る」ことで意見が一致したところであり、そのことは10月27日の町政懇談会で説明したところであるが、来年6月には深川・留萌自動車道が全線開通し、留萌駅を含めたエリアが道の駅基本計画の中に含まれていることから留萌市が廃線を容認したものではないと認識しており、また私どもが意見を言える立場にないが、次回の会議ではその真意を確認したいと考えていること。検討委員会などの立ち上げについては、今後とも各種会合などで説明する機会を設けるなどより多くの町民層からご意見を伺って参りたい旨答弁をしております。

次に藤岡議員からは、2件あり一つ目として「子供達をSNS被害からどう守るのか」として質問がありました。

趣旨は、近年のSNSを通じた犯罪が増えている中、各地で注意喚起の懇談会などが開かれているが町としても対策を講じることが急務であり、今後大切な子供達をどのように守り育てていくのか今までの取り組みを含め今後

の対応に対する考えを伺いたいというものでした。

それに対し教育長は、次世代を担う青少年の育成は、大人全体に課せられた責務であり、町教委として「インターネットの利用に起因する個人情報流出等のトラブルの実態」「発達段階に応じたフィルタリング等の利用者の理解と普及」「インターネット利用に関する家庭でのルール作りや情報モラルを身に付けることの重要性」について繰り返し指導を行ってきており、大阪で発生した未成年者誘拐事件の報道の後には小中学校に対し、11月29日に教育長名で「児童生徒の家庭での生活習慣等の改善に向けて」を通知したところであり、今後も子供達への性被害の防止や有害環境への適切な対応等について適切な対応を丁寧に講じて参る旨答弁しております。

2つ目は、「中学生からピロリ菌検査で胃がん予防を」として近年、中学生を対象とした検査の実施が全国的に広がっており新聞でも紹介記事がありました。道内では55市町村が事業化しており若年程除菌効果も高いと言われていたことから本町でも中学生からのピロリ菌検査と除菌事業に取り組むべきと考えるが町長の考えを伺いたいというものでした。

それに対し町長は、道内は平成26年頃から取り組みが始まってきたが、55市町村が実施されているということは124の市町村が実施しておらず検査や治療のリスクが払しょくしきれていないことも要因となっていること、本町の住民健診では30歳以上の成人を対象とした検査を実施してきているが、中学生での除菌治療薬の副作用は全体で14.7%程度みられるほかアレルギー反応もみられるとのことですし、その治療に対してはお子さんを診察できる消化器内科の専門医の協力も不可欠といわれており、陽性となった生徒への精神面への影響等を踏まえ慎重に検討して参りたい旨答弁しております。

以上、議会関係の報告とさせていただきます。

○小林教育長

次に、4その他(1)行事関係について報告願います。

○笹木教育課長

(別紙に記載のとおり説明)

○小林教育長

はい、只今報告がありましたけれども何かございますか。

— 声なし —

○小林教育長

よろしいですか。

— 「はい」の声あり —

○小林教育長

では、次に進めさせていただきます。

日程番号4番 議案第13号 秩父別町招致外国青年任用規則の一部を改正する規則の設定について

○小林教育長

次に、日程番号4番、議案第13号、秩父別町招致外国青年任用規則の一部を改正する規則の設定について、事務局より説明願います。

○笹木教育課長

(別紙により説明)

○小林教育長

只今事務局より説明がありましたが、ご意見ご質問等がありましたらお願いいたします。

— 声なし —

○小林教育長

ございませんか。

— 「はい」の声あり —

○小林教育長

それでは、ご意見がないようですので議案第13号は可決とすることにご異議ございませんか。

— 「異議なし」の声あり —

○小林教育長

それでは、ご異議がないようですので議案第13号は可決といたします。

日程番号5番 議案第14号 令和2年度教育関係予算要求について

○小林教育長

次に、日程番号5番、議案第14号、令和2年度教育関係予算要求について、事務局より説明願います。

○笹木教育課長(別紙により説明。別添資料「令和2年度教育予算重点要望書」)

○小林教育長

只今事務局より説明がありましたが、ご意見ご質問等がありましたらお願いいたします。

○梅澤教育長職務代理者

扇風機を買うようにしていますけれど、これを買うことによってエアコン

は検討から外れることはないですか。

○笹木教育課長

基本的にエアコンは考えていないということです。

○梅澤教育長職務代理人

設置しないということですか。

○笹木教育課長

教育長からもありましたが、実際学校でエアコンを使わないと教室で授業できないとか熱中症の心配があるとかそういうことがまずありません。それについて昨年も学校にその辺を確認しております。国で学校へのエアコン設置ということで色々新聞等で記事があり、そういったタイミングで私からエアコンについて学校としてはどうなんだろうと聞きますと授業への支障は一切ありませんとのことでした。では今回の要望がなぜ上がったかと言いますと、要は子供達のアンケート調査によるとエアコンがあった方がいいなという結果であった。今はもう新しい家は皆さんエアコンの付いている家に住まわれているということもあるのかなということも見まして、それで話があったので一応出させていただきましたという学校の説明がありましたので、今回エアコンについては今後の様子を見ながら検討という話です。

○梅澤教育長職務代理人

はい。

○小林教育長

はい、他にございますか。

○梅澤教育長職務代理人

今、陶芸をされている方は何人位いらっしゃるんですか。

○笹木教育課長

10人位だと思います。前にちょっとお邪魔した時にその位で、なつみの里の方もいらっしゃいました。

○小林教育長

よろしいですか。

○梅澤教育長職務代理人

はい。

○小林教育長

文化祭の時など陶芸も結構作品が並んでいますね。

○笹木教育課長

要望を出すのは出すんですが中々つきづらいというのはあるんですけど。

○小林教育長

はい、他にいかがでしょうか。はい、どうぞ。

○宮本委員

前回、中学校のプリンターに関しての意見を出したのですけれど。

○笹木教育課長

中学校のプリンターは実は経常経費の方で要求しているものですから、重点ではなく経常経費です。プリンターの方も丁度入れ替えの時期でもありましたので、2万とか3万円の予算措置なのでそちらの方で措置してもらえるように出してあります。

○小林教育長

よろしいですか。

○宮本委員

はい。

○小林教育長

他にはいかがですか。

○梅澤教育長職務代理者

ふれあいプラザの塗装と補修の件なんですけれど1,600万円位と高額ですが、塗装と補修は別にはできないんですか。補修でどれ位かかるんでしょうか。

○笹木教育課長

プラザの建物の修繕する場合の金額は例年またちょっと変わってまして、議会でもありました。屋根の修繕というのもちょうとやっぱりチェックしていく、直す時に直していかないとひどくなるのではないかと。壁面に綾南町の絵が描いてありましてその辺があるものですから。ただやっぱりどうしても繁忙期のキャンプ場にお客さんが来て、周りも一杯車があつてこれだけ煤けたのは見栄えが悪いんじゃないかというのがあります。ですから非常に金額が高い。そして屋根の塗装で1,600万円、外壁になると、また相当予算がいることとなりますけれどもバラバラにするというのは足場を組んでやるものですから効率性も考える必要性も有ります。

○梅澤教育長職務代理者

はい。

○笹木教育課長

やるのであれば一緒にやっついていかないとだめなのかなということをおもって、中々方法・予算、全体的に倍位になっていくのかなと。それで学校の修繕のこともありますので、要は町全体の施設整備計画っていうことでそちらの方にまずは位置付けして盛り込み今後の将来設計の中でこれは出していきたいなと思っておりますので、いずれにせよ中学校の改修も含めて大きなものが非常に、ま、一定数ある訳でそういった状況を鑑みての計画の

中にはこれも漏れることなく入れて参りたいと思っております。

○小林教育長

はい。他にございませんか。

— 声なし —

○小林教育長

なければ議案第 14 号は可決とすることにご異議ございませんか。

— 「はい」の声あり —

○小林教育長

それでは、ご異議がないようですので議案第 14 号は可決といたします。

日程番号 6 番 協議案

○小林教育長

次に、日程番号 6 番、協議案について事務局より説明願います。

○笹木教育課長

はい、平成 30 年度実施事業の行政評価について資料がございます。そちらの方をご覧いただき 1 番、秩父別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価についてを、担当の方から説明いたします。

○大山主幹

それでは、私の方から説明いたします。(別添資料により概要を説明)

○大山主幹・川尻主幹

(別添資料により、評価が B・C の事業について説明)

○小林教育長

只今説明がありました。職員個々の評価をトータルして点数を均しているのので恐らくそのあたり、本当に B なのか若干 A に近いとかあるかと思いますが結果的にそういう表現になったということでもあります。

○梅澤教育長職務代理者

建物が古いというのは事業になりますか。これは事業だけの評価じゃなくて。

○小林教育長

いや、そうだと思いますが、古いということではなくて、古いからだめということではなくて。

○川尻主幹

老朽化して補修箇所が沢山あると、その中で優先順位をつけて直してはいるけれど、まだ直っていない箇所等が多々あるということでの評価ではないかというふうに思います。

○小林教育長

それでは事業の中身とは別ですね。

○笹木教育課長

要は事業の括りとして管理するといった事業です。整備する方の事業ということになっております。

○梅澤教育長職務代理者

C評価の 22 番のパークゴルフ大会なんですけれども何年来C評価をつけているんですけれども、その度に町外の人たちが多く来てPRになるということに残っているのと、冠杯でもって中々無くすことが出来ないという形が何年来続いて出てくるんですけれど、120 名位来ているんならまあまあいいんじゃないかと思うんですけれど。目的がちょっと合わない、この書いてある目的とは合わないかもしれないですね。

○大山主幹

仰る通りです。であれば教育委員会でやる必要があるんですかって言われたらってことなんですね。

○小林教育長

120 名中、町内は 30 数名いますからね。

○大山主幹

近年ちょっと増えてきたんです。その前 100 人いってなかった時もあったんです。

○梅澤教育長職務代理者

また町内の人達は他町村の上手い人達が来すぎて出たくないという人達がいらっしゃる。

○大山主幹

あの下の方の成績になるのが嫌っていうのがあるでしょうし。ただ近年は上の方もうちの町民の方が何名か入るようになってきている。

○田丸委員

これをもし町民主体でやるというのは。そういうことにはならないか。

○大山主幹

町民で言いますと数名です。先ほど言ったように大会は手伝いはする。けれども自分でやるのはちょっとという人と、うちでやるなら俺が優勝しないっていう、そういう方が少数派になってしまうのかなというのがあります。やっぱりパークの協会というのもパークゴルフ場があつてこそある協会で大きな大会をするのがまあステータスっていうんじゃないですけどもそういったものもあるのかなと、他にも結構いろんな大会がありまして協会自体の大会もあります。各町の協会で小規模って言いますかそういうものをやってるん

ですけども、役場ですとか教育委員会ですとかが主催といいますか後ろについてやっているところは確かにあまりないはずですね。

○小林教育長

結構その運営者の負担感もあるっていう話もあったんですけどね。これどうなんでしょうね、私は別などころではないかと思うんですけどね。教育委員会でないでしょうという、やるにしてもね。

○梅澤教育長職務代理者

そういうこと言えるんですか。

○小林教育長

意見としてはあっていいんじゃないかと思うんですが。教育委員会の中ではそう言っていましたと、もっとやるべき仕事があるんじゃないかという意見。教育委員会としてというのを大前提にしていかないとどんどん仕事が増えていきますから。それでなくてもキャンプ場関係ですごく苦勞しているののでできるだけ削いであげたいなど私の趣旨では思うんですけど。

— 間 —

○小林教育長

ま、そういう意見もあったということで、そしたら加味してください。

○南委員

2番の学校教育振興事業ですけども評価はAですが、予算額30万円に対して決算額が20万円ですが。

○小林教育長

どういことですか。

○南委員

これはもう学校に一律交付ですか。

○笹木教育課長

それは年度当初に交付申請上げてもらって小学校・中学校各10万円で、もし何か追加があればその残り10万円から支出するというので、ただ今のところ20万円で決算されてますので。今年の今の状況を申し上げますと、今年はかなりというか研究大会がありましたので、そちらの方で使っていますので令和元年度の決算は20万円は超えている状況です。

○南委員

わかりました。

○小林教育長

その年によりその額は変わってくるのかと思いますが、他にご意見はございませんか。

— 声なし —

○小林教育長

時間も押してきていますけどもこんなところでよろしいでしょうか。

— 「はい」の声あり —

○小林教育長

2番、次期教育委員会についてお願いします。

○笹木教育課長

次期教育委員会に於きましては、まだ時間がありますのでこちらの方でまた改めまして皆様に各々のご都合の方をお伺いします。2月を目途に行います。

○小林教育長

では次、3番、教職員と児童生徒との連絡手段に係る校内規程（案）について私の方から説明させていただきます。

一番最初に資料をお配りしたんですけれどもお手元にございますか。最初にご通知の方ですけども令和元年10月21日付け北海道教育庁空知教育局長名で文書が来ております。通知の中身はですね、教職員と児童生徒との連絡手段に係わる校内規程についてということになっております。道教委の方でこの児童生徒に対する教職員によるわいせつ行為等について教職員と児童生徒との間で私的にメールやSNSを使用することをきっかけとして事故につながっていることが多い。そうしたことから実は平成27年、今から5年位前の平成27年3月27日付けで実は「職員と児童生徒との連絡手段の適切な取扱いについて」という教育長の通達が来ております。その中で携帯電話とか電子メール、それからSNS等により児童生徒と私的な連絡を行わないことを道立学校の校長宛と市町村教育委員会教育長宛に通知があったところであります。ところが現在管内の教職員と児童生徒との連絡手段に係る校内規程というものを整備しているのは、1市町、一つしかないそうです。24市町の内、年内には12市町が整備する見込みというふうに聞いておりますけども、この度のことを受けまして本教育委員会に於きましては教職員の児童生徒に対するわいせつ行為の防止には、やはり児童生徒との連絡手段に係る禁止事項を明確化しました。そういった規程を整理し職員に通知することが良案というふうに考えたところであります。

つきましてはということでお手元にあります、もう一つの「秩父別町職員と児童生徒との連絡手段に係る教育委員会規程（案）」を示させていただいたところでございます。なお、今後についてもですね、この間校長会議を行いまして、その中でもこのことをちょっとお話させていただきました。現状

を言いますと中学校はすでに道のサンプルを使って校内で実際にそれを使い職員に指導しているというお話がありましたし、小学校につきましてはそれを具体的に規程という形でもって出してはいないけどもできるところから協力したいというお話を聞いております。つきましては綱紀選考にあたってですね、令和2年1月14日ということで3学期始業式あたりを目途にしながら文書を学校の方に通知してはどうかと考えているところでもありますので、何か委員の方からご意見等ありましたらお聞かせ願いたいと思ひましてこれを提出させていただきました。

よろしくお願ひいたします。

— 問 —

○小林教育長

当然こういったことをやっておかないと私の前の学校でやはりこういったことでいろんなトラブルが実際あるんです。で、担任と子供達が実際に事にあたると、子供っていうよりも保護者ともメールでどんどんラインを使ってやりとりしてるんです。ま、そのことが本当に日常的にやっていることでびっくりしたことなんですけど、やはり、そういったところで様々なトラブルとか事件等が発生するっていうことも大いに考えられますし、しかも、やはり小学生だなんてこともあるんですけども中学生・高校生になりましたらそういったことっていうのは大変生徒と接触するっていう一つの方法としては実際に使っているっていうことも聞いておりますし、またそういった事故・事件も起こっております。だからそういった意味では教育委員会としてやはりきちんとそういったものを文書で出して、学校に指導を流すということは必要なのかなというふうに思っているところでもあります。いかがでしょうか。

— 問 —

○小林教育長

これまでに秩父別でそういったことがあったという例はないと思います。けれどもただ実際そういったことを通してやり取りしているのは恐らく少なからずあったのではないかということは考えられます。何かこう歯止めになるものがないと安易に考えてしまい日常的に常態化してしまうということもちょっと気にしないといけない。

— 問 —

○小林教育長

よろしいですか。中学校は出来ていますがけれども小学校はまだこれからだと、それはそれでも中学生と小学生の違う部分があるかと思ひますので、そのあたりの内容を確認しながら学校で対応をとっていただければと思ひます

ので、後日3学期に間に合うように通知したいと思いますのでよろしく願い
したいと思います。ということで次に進めさせていただきます。

○小林教育長

4番その他についてということでお願いいたします。

○笹木教育課長

4番その他、行事予定。(別紙に記載のとおり説明)

○小林教育長

ということで、今後の予定について何かございましたら。

— 声なし —

○小林教育長

何かこの件についてございますか。よろしいですか。

— 声なし —

○小林教育長

じゃ全体を通して何かご質問等があればいただきたいと思えますけれども
何かございませんか。

○梅澤教育長職務代理者

ずっとこのところベルパークやら色々出来て、キュービックとかキャン
プ場が良くなりまして人がたくさん来ています、秩父別に。それによって教
育委員会とか若しくは役場なんですけれど職員にどれだけの負担がきている
のかということを知りたいのですが。それによってやっぱり考えな
きゃいけない部分とか仕事の分担でも分けていかなければならない部分があ
るのではないかと感じているのですが、その辺を今日でなくていいんですけ
ど、一回知りたいという要望です。

○笹木教育課長

一覧にまとめてお渡しいたします。変わった点ですね。こういった屋外施
設の管理の部分で何が変わったのか。普通ならこうで何がどう変わったのか。

○小林教育長

ではこういったことで宿題になりましたので、その点よろしく願いしま
す。あと他にありますか。

— 声なし —

○小林教育長

よろしいですか。

— 「はい」の声あり —

○小林教育長

はい、ないようですのでこれで第5回秩父別町教育委員会定例会を閉会い

たします。どうもありがとうございました。

午後 4 時 51 分閉会